

1. 科目名 (単位数)	社会 (2単位)	3. 科目番号	EDEL3306 EDEL2306
2. 授業担当教員	福島 裕		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を織り交ぜる。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>小学校社会科の教科の目標は、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う」という柱書部分と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標で構成されている。本講義では、今回の改訂のねらいと目標、小学校社会科の目標と内容等について学修する。特に、各学年の目標と指導内容の特色等について具体的に検討する中で、習得型の知識と探究による知識活用について学び、社会科と各教科等との関連についても理解を深める。さらに、社会科学習に必要な学び方や調べ方を身に付ける学習や体験的な学習、問題解決的な学習を一層重視する社会科学習の在り方についても検討していく。</p>		
8. 学習目標	<p>「社会」の学習が終了した時点で、学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校社会科の意義、目標、及び各学年の目標・内容を理解し、説明できるようになる。 2. 社会生活の内容について、地理(自然・国土・産業)、歴史、公民の各分野の特徴を述べることが出来る。 3. 小学校社会科の指導計画作成・学習方法や小学校社会科の評価規準について理解し、説明できる。 4. 授業においては、班活動の重要性を理解し、役割を分担し協力態勢のもとで、調査・体験・作業的な学習や話し合い・発表学習ができる。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>○全員が小学校学習指導要領社会及び教科書の該当箇所(事前に計画表を配布)をよく読んでおくこと。 ○担当班は、事前にグループ提案用紙に担当内容についての要点や重要箇所、疑問点を話し合いまとめ、教員へ提出する。 ○各班は、調査・体験や作業的な活動に取り組む際には、役割分担や協力的な活動についての事前の話し合いを行い、教材の作成・まとめ・発表等を実施できるようにすること。 ○レポート課題：テーマについては後日指定する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 ○文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』日本文教出版 ○帝国書院編集部『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』帝国書院</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 40% レポート課題 60%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>○社会科は、戦後の日本において民主的で平和な国づくりを目指す中核として設けられた教科です。学習指導要領改訂の歴史を振り返りながら、新学習指導要領が目指す社会科学習の在り方、社会科学習の今日的な課題について考えます。さらに指導計画、授業実践、評価等の基本的な理解を深め、学び方や調べ方を身につける学習、体験的な学習、問題解決的な学習を一層充実させるための社会科学習について、児童の視点を重視しながら学びます。受講生はグループによる共同的な学習を行うので、計画・分担・発表・評価について協力して取り組めるよう努めてください。また、以下の点にも留意されたい。</p> <p>ア 事前・事後の学習は必ず行い、課題を明確にして授業に臨む。 イ それぞれの教材が、児童にとってどのような意味を持っているのか、常に考える習慣を身につける。 ウ 社会的事象への関心を高め、社会人として必要な知識や教養を身につける。 例 日本や世界の現状を理解し、豊かな知識と深い考え方ができるようにするとともに、教材を多面的にとらえ、児童の発達段階に即した教材づくりができるようにする。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、社会科教育の目標を理解し、学習カードをもとに今後の学習の進め方を把握する。	事前学習	これまでに社会科の学習で学んだことを想起しておく。
		事後学習	社会科学習の目標について整理し、理解する。
第2回	社会科教育の意義・特質 社会の考え方を知り、どのような指導が望ましいのかを考える。	事前学習	教科書「社会科編」を読んでおく。
		事後学習	社会科教育の意義・特質を整理する。
第3回	社会科の目標の構造 社会科の目標を調べ、自分にわかりやすい目標の構造を作る。	事前学習	社会科の目標を読んでおく。
		事後学習	社会科の目標から社会科教育の考え方をまとめる。
第4回	社会科学習指導要領の目標の特徴 社会科学習の目標の特徴について話し合う。	事前学習	社会科の各学年の目標を調べてくる。
		事後学習	目標の構造を整理する。
第5回	公民的資質の形成と社会科教育の方法 社会科教育の歴史と教育の内容の系統について調べ、公民的資質の基礎作りについて理解を深める。	事前学習	配布資料「社会科の試案」を読み、理念を調べておく。
		事後学習	学習指導要領の変遷を比較してまとめる。
第6回	地理的分野の目標と内容 学習指導要領から、地理的分野の学習を取り出すことが	事前学習	内容を系統的に整理し学年ごとにおける。
		事後学習	小学校における地理的な学習についてまと

	できる。		める。
第7回	発達段階に応じた地図帳や地球儀の活用について 地図帳や地球儀の基礎基本を理解し、活用できるように する。	事前学習	2万5千分の1の地図の読み方を確認して おく。
		事後学習	小学校における地図の読み方の要点をまと める。
第8回	地域学習での観察と観察の視点(第3学年) 学区域の観察、行政区域の観察を行う。	事前学習	3年生の学区域の観察で学習する内容を調 べる。
		事後学習	地域観察したことで分かったことをまとめ る。
第9回	地域学習の観察と結果のまとめ方(第4学年) 地域(都道府県)の観察を行い、その結果をリーフレッ トにまとめる。	事前学習	4年生の学習内容について調べる。
		事後学習	観察した内容をリーフレットに工夫して表 現する。
第10回	我が国の地理的環境や産業の現状等について(第5学 年) 学習指導要領から第5学年の目標と内容について理解 を深める。	事前学習	学習指導要領の第5学年の内容と目標を読 んでおく。
		事後学習	地理的環境の特色、産業の現状、社会の情報 化と産業の関わりについて整理し、授業のイ メージを持てるようにする。
第11回	公民的分野の目標と内容(第6学年) 公民的分野の学習を学習指導要領から取り出し、目標と 内容について理解を深める。	事前学習	日本国憲法の前文を読んでおく。
		事後学習	小学校で取り扱う公民的分野の内容と配慮 事項をまとめる。
第12回	人物中心の歴史学習を進めるために(第6学年) 学習指導要領に示された人物について業績を調べると ともに、時代の特徴を知る。	事前学習	
		事後学習	人物と歴史事象との関連から、学びの中心概 念を整理する。
第13回	資料活用の在り方 教科書に示されている代表的な資料の分析と活用の仕 方を学ぶ。	事前学習	教科書で扱う資料で印象的なものを抽出し てくる。
		事後学習	資料をもとに思考を深める指導のあり方を 整理する。
第14回	社会科の評価 評価規準や評価方法を学ぶ。	事前学習	評価の在り方についての答申を読んでくる。
		事後学習	社会科の評価について、その現状と課題をま とめる。
第15回	社会科教育の構造をまとめる 義務教育における社会科教育の構造を学び、小学校社会 科の特徴をまとめる。	事前学習	社会科学習の構造を考える。
		事後学習	小学校社会科の特徴を整理してまとめる。